

# 九州沖縄植物学会平成26年度総会議事要旨

日時：平成26年5月24日 15時10分より

場所：琉球大学共通教育2号館2階

出席者：17名

議事に先立ち、阿部美紀子委員を総会の議長に選出した。

## 議題

- 1 平成25年度事業報告
- 2 平成25年度決算報告
- 3 平成26年度事業計画案
- 4 平成26年度予算案
- 5 平成26年度中間報告
- 6 幹事手当について
- 7 九州沖縄植物学会の活動のあり方・活性化について
- 8 その他

---

## 1. 平成25年度事業報告

内海会長より次の通り報告があった。

### (1) 合同例会

第507回から第515回合同例会を次の日程で開催した。

回	月/日	開催県	回	月/日	開催県
507	5/26	沖縄	512	12/7	福岡
508	7/13	鹿児島	513	12/7	鹿児島
509	11/9	佐賀	514	12/14	長崎
510	11/9	宮崎	515	12/21	大分
511	11/16	熊本			

### (2) 平成25年度（第63回）九州三学会合同大会

平成25年5月18日(土)～19日(日) 熊本大学理学部にて開催した。

### (3) 支援事業

高校生を対象とした企画が第513回鹿児島例会(12/7)において開催され、事務局より3,000円の特別補助金を交付した。

申請支部	企画内容
鹿児島	文部科学省コアSSH 地域の中核拠点形成事業「ダイコンコンソーシアムを発展させた『鹿児島モデル』の推進」の研究成果発表会との共同開催(全国から約120名の参加)

### (4) その他の事業

- ・FoPD(国際植物の日)への参加。

九州三学会合同大会における特別講演会を Fascination of Plants Day(国際植物の日)の参加イベントとした。講演は次の2題であった。

「阿蘇の半草原に生育するカキラン(ラン科)の受粉生態について」熊本大・杉浦直人

「阿蘇の草原植物の現状と草原再生」NPO 法人阿蘇花野協会・瀬井純雄  
 ・学会 HP (URL: <http://kyuoki.sub.jp/>, 担当: 九州大学・松田先生) を運営した。

## 2. 平成 25 年度決算報告

内会計幹事より、次の通り報告があった。

### 収入

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
前年度繰越金	239,777	239,777	0	
学会費	86,000	47,000	▲ 39,000	
地区活動費補助金 (日本植物学会より)	12,500	12,500	0	会員 125 人分
レンタルサーバー補助金 (日本植物学会より)	4,875	0	0	植物学会より松田先生へ 3,150 円を直接送金
その他(利子など)	60	26	▲ 34	
計	343,212	299,303	▲ 43,909	

### 支出

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
通信費	15,000	3,120	11,880	郵送費・切手
事務費	10,000	1,685	8,315	文具代など
合同大会分担金	10,000	10,000	0	熊本大会事務局へ
例会補助金	40,000	40,000	0	8 県 × 5,000 円
支部例会特別補助金	3,000	3,000	0	鹿児島県
幹事手当(1 名分)	5,000	5,000	0	幹事 1 名 × 5,000 円
事業費	260,212	0	260,212	
計	343,212	62,805	280,407	

差引残高 299,303 - 62,805 = 236,498 円 (平成 26 年度への繰越金)

会計監査報告 九州大学理学研究院 楠見健介 氏 より次の通り報告があった。

「平成 26 年 5 月 19 日 内奈保子会計幹事から提示されました、平成 25 年度会計帳簿および収支決算書につきまして、帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、適正に処理されていることを報告します。会計監査 楠見健介」

## 3. 平成 26 年度事業計画案

内海会長より、次の通り説明があった。

### (1) 合同例会

第 516 回から第 524 回合同例会の開催日程(予定)は、次のとおりである。

回	月/日	開催県	回	月/日	開催県
516	5/24	沖 縄	521	12/ 6	福 岡
517	7/ 5	鹿児島	522	12/ 6	鹿児島
518	11/ 1	宮 崎	523	12/13	長 崎
519	11/15	佐 賀	524	12/20	大 分
520	11/22	熊 本			

\*本年度の沖縄例会はシンポジウムと同時開催であるため、他学会支部との協議の結果、沖縄例への会補助金は支給しないこととした。

(2) 平成26年度(第64回)九州三学会合同大会

平成26年5月24日(土)～25日(日)琉球大学(大会委員長, 中村宗一先生)にて沖縄生物学会との四学会合同大会として開催する。

(3) 支援事業

高校生を対象とした企画について、申請があれば昨年と同様に支援する。

(4) FoPD(国際植物の日)への参加について

本年度の九州三学会合同大会における特別講演会2題をFascination of Plants Day(国際植物の日)の参加イベントとする。

(5) その他

ホームページを運営する。担当は、引き続き九州大学・松田先生にお願いする。

4. 平成26年度予算案

内会計幹事より次の通り報告があった。

収入

項目	予算額
前年度繰越金	236,498
学会費	93,000
地区活動費補助金 (日本植物学会より)	12,300
その他(利子など)	60
計	341,858

支出

項目	予算額
通信費	18,000
事務費	10,000
合同大会分担金	10,000
例会補助金	35,000
支部例会特別補助金	3,000
幹事手当	5,000
事業費	260,858
計	341,858

5. 平成26年度中間報告

内会計幹事より次の通り報告があった。

収入

項目	金額
前年度繰越金	236,498
学会費(9名)	23,000
地区活動費補助金 (日本植物学会より)	12,300
利子	46
計	271,844

支出

項目	金額
事務費(領収書)	750
計	750

平成26年5月21日現在

## 現会員数並びに会費の納入状況

平成 26 年 5 月 21 日現在

	入会者 <sup>1</sup>	退会者 <sup>1</sup>	一般会員	50 年会員	総会員	完納会員 <sup>2</sup>	未納会員 <sup>2</sup>	完納率 (%)	除名対象者 <sup>3</sup>
福岡	2	2	30	3	33	11	20	33.3	12
佐賀	2	0	7	0	7	5	2	71.4	2
長崎	0	0	4	0	4	1	3	25.0	3
熊本	2	2	25	3	28	15	11	53.6	4
大分	0	0	3	3	6	2	2	33.3	1
宮崎	0	1	3	2	5	1	2	20.0	2
鹿児島	2	0	11	1	12	6	5	50.0	5
沖縄	3	1	10	0	10	2	7	20.0	4
合計	11	6	93	12	105	43	52	41.0	33

<sup>1</sup>H25 年 5 月 13 日から H26 年 5 月 23 日までの入退会者数

<sup>2</sup>会費納入状況は、H25 年度分までの会費を納めた者を完納とした。

<sup>3</sup>2 年以上会費を滞納(H21 年度分から滞納)している会員を除名対象者とした。

### 6 幹事手当について

内海会長より会員数及び会費納入状況について報告があり、幹事手当の値上げや旅費の補助などは困難であることが説明された。

### 7 九州沖縄植物学会の活動のあり方・活性化について

会員数及び会費納入状況を勘案すると、学生の学会参加及び発表を増やすことが最も良策であることが会長より説明があり、委員への協力がお願いされた。

本学会の「植物学会九州支部」としてのあり方を会長経験者や委員で見直し、植物学会と意見交換するなどの方策を検討する。

その他、年会費の値上げや例会補助金の減額など、財政状況改善や活動の活性化に関するアイデアについて意見交換した。

年度	一般会員数	50 年会員数	総会員数
H25	93	12	105
H24	95	13	108
H23	97	12	109
H22	101	12	113
H21	100	10	110
H20	101	8	109

### 8 その他

(1) 合同大会の開催地のローテーションについて

開催地ローテーション			
2011	長崎	2017	大分
2012	佐賀	2018	宮崎
2013	熊本	2019	長崎
2014	沖縄	2020	福岡
2015	福岡	2021	佐賀
2016	鹿児島	2022	熊本

\*平成27年度（第65回）九州三学会合同大会

平成27年5月23日（土）～24日（日）福岡大学（大会委員長，伊東綱男先生）にて開催予定である。

\*平成28年度の大会は鹿児島、平成29年度の大会は大分で開催予定である。

\*土壌生物学会と会期が重ならないように、合同大会開催日は5月の第4週末を外して検討する。

(2) 会長および委員改選後の諸事務手続きについて

郵便振替口座の取り扱い郵便局の変更手続きなどで、会則の改訂（例えば事務局所在地の追記）などが必要になることが予想される。状況に応じて、新旧の会長あるいは委員で検討して対応することが了承された。

(3) 合同大会の会則について

合同大会実施に伴い、口座の開設など必要となるが、そのための事務手続きをスムーズにできるよう、「大会実行委員会の会則」のようなものの策定を検討することが了承された。